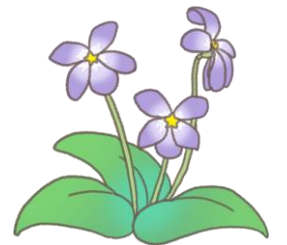


ちはら台自治会連合会の協賛している各種団体について

ちはら台自治会連合会は27の自治会から成り立っています。各会長さんは地域内の各種団体に所属してその活動を役員としてサポートしており、併せて皆様から集めた自治会費を助成金として協力したり、別途個別にまとめて集めて各団体に配付したりして、地域の活動を、資金面や人材としてサポートしています。

今後個別に各団体の活動や、会長さんがその団体で行っているサポートを紹介して参ります



第1回

「青少年育成ちはら台地区民会議」

市原市では青少年問題のもつ重要性を認識し、広く市民の意見を集約して、国県および市との密接な連携をとりながら、青少年育成関係機関、団体相互間の連携強化を図り、「明るい家庭づくり」「社会環境の浄化」等の活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的に、昭和56年1月に「青少年育成市民会議」が結成されました。

結成以来、各地域ぐるみの運動へと活動の輪を広げるために、市内9地区に「地区民会議」が結成されています。ちはら台地区民会議については、平成14年にちはら台行政機関(支所)が設置されたことを踏まえて、市津地区より分離独立し、9つめの地区民会議として発足しました(平成14年6月9日)。

ちはら台地区民会議の構成は会長と3名の副会長に理事として各中学校長、小学校長の代表、各PTA会長と各種団体の代表、コミュニティセンタ理事長などで、顧問も2名います。そして自治会連合会から副会長、理事、監事の3名と、顧問として連合会長が参加しています。

助成金は自治会連合会から1世帯当り20円です。また自治会連合会では各種行事をちはら台チャンネルで放映し、活動の広報活動も担っています。

活動状況

ちはら台地区民会議の年間の活動を紹介致します

総務会・理事会

理事会は年に6回ほど開催され、団体の活動、予決算、方針の立案、広報誌の発行、総会の招集等の議論企画を行います。総務会は理事会の準備や細かい運営などについて議論しますが、メンバーは顧問、会長に副会長3名総務担当理事6名から構成されます。

村田川リバー サイドウォーク

村田川リバーサイドウォーク：ゴールデンウィーク初日あたりの恒例行事です。村田川川岸を水ノ江公園から瀬又まで鯉のぼりを見ながら、あちこちに設けられたクイズを挑戦したり自然を楽しむ催しで、小学生のいる家庭を中心に行っています。

親子で護身術

地元の少林寺拳法団体の協力を得て、夏休み前に小学生のいる家庭を対象に、暴漢に襲われたときにうまく逃げることを主に、護身術を教えるイベントです。

体験講演会

地域の方々と協力しあい、様々な内容の講演を小学生などに向けて行っています。2025年度は初の試みとして地域の小中学校コミュニティスクールと共同で、各校の先生、保護者、地域住民を対象にリモート講演を、国立成育医療研究センターの児童精神科医である山口有紗先生を講師として行いました。

体験講演会

ちはら台を横断するかずさの道にある陸橋壁面には、落書きが書かれ市により補修をされていました。NHK「難問解決ご近所の底力」という番組で、壁面にあらかじめ絵を描くことで防止した話をきっかけに、当時は1校のみの南中学校に相談し、市からは「市原市塗装協同組合」を紹介されました。当初は市からの「子供夢基金」の助成金により平成19年に「東3丁目バス停」に南中の美術部により第一号が完成。以降平成24年まで「子供夢基金」の助成により継続し、24年には西中開校し合同制作となりましたが、こども夢基金の助成が終了したため、自治会連合会に助成をお願いしましたが、費用の関係で2年に1回となり、さらに費用が高騰し3年に1度の積み立てにより、継続しています。これまで8カ所の壁画が完成して、2025年度はかずさの道からユニモに通じるトンネル内に、南中、西中がそれぞれ1枚ずつの壁画を完成させました。

制服リユース

昨年度から、ちはら台地区社協と協力して、南中学校の卒業生徒の制服をコミュニティセンターの秋の文化祭に合わせて、南中学校、PTAの協力を得てご希望者にリユースとして無料で渡しています。

その他各団体への協力

社会福祉協議会の「子ども見守り事業」、自治会連合会の市民夏祭りと春秋の挨拶運動、SDGs委員会の草刈り、体育振興会の市民体育祭、コミュニティセンターのトンエコマラソン等への協力を積極的に行っています。